

News Release

2011年11月15日
株式会社産業革新機構

株式会社ジャパンディスプレイの新社長就任の予定について

本日、株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区丸の内、代表取締役社長：能見公一、以下「INCJ」）は、株式会社ジャパンディスプレイの代表取締役社長に大塚周一が就任予定であることを発表いたします。

なお、大塚周一は、今後必要な手続きを経て代表取締役社長に就任するまでの間、INCJのシニアアドバイザーとして株式会社ジャパンディスプレイの設立準備等に携わる予定です。

〈大塚周一の略歴〉

1980年 日本テキサス・インスツルメンツ株式会社 入社

1998年 ソニー株式会社 入社

2002年 エルピーダメモリ株式会社 入社

2004年 同社 COO 就任

2011年 同社取締役 退任

株式会社 ジャパンディスプレイ 代表取締役社長 就任（予定）

〈本事業統合に関するコメント〉

株式会社 ジャパンディスプレイ 代表取締役社長（予定） 大塚 周一

「我々すべての関係者は、本統合の意義を共有し、世界をリードする中小型ディスプレイ企業を創るという強い思いを持って臨んでいます。その熱意を実現すべく、中立・公平な立場で大胆な経営を行うことで、新会社ジャパンディスプレイをグローバルリーディングカンパニーに導くことが私の使命だと考えております。」

株式会社 産業革新機構 代表取締役社長 能見 公一

「大塚周一氏は、先端技術の開発や大規模な投資判断が求められるグローバル企業の経営者としての豊富な経験をお持ちであり、同氏の強いリーダーシップのもと、株式会社ジャパンディスプレイが、成長する中小型ディスプレイ市場におけるグローバルリーディングカンパニーとして確固たる地位を確立することを確信しています。」

〈株式会社ジャパンディスプレイ概要（予定）〉

事業開始：2012年春

本社所在地：東京都

資本金：2,300億円（資本準備金を含む。）

代表取締役社長：大塚 周一

株主及びその議決権付株式の保有比率：INCJ70% ソニー10% 東芝 10% 日立 10%

事業内容：中小型ディスプレイデバイス及び関連製品の開発、設計、製造及び販売業

#

株式会社 産業革新機構(INCJ)について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額9,000億円超の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、同社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJでは、これまでに合計19件・総額約3,250億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

株式会社 産業革新機構 企画調整室 檜山 望月 小林
東京都千代田区丸の内1-6-5
電話：03-5218-7200 (大代表)

(株式会社ジャパンディスプレイに関するお問い合わせ先)

※新会社に関する質問やインタビュー申込等については、こちらをお願いします。

アシュトン・コンサルティング・リミテッド
塩加井 匡 岩屋 雄三
東京都港区虎ノ門3-7-8
電話：03-5425-7220